



ひとつひとつの思い出を刻みたい

校 長 小倉 孝行

6月4日(水)、晴天のもと令和8年度 第79回体育祭を開催しました。前日は台風のため、本校では臨時休校の措置をとりました。体育祭当日の朝、教職員、係生徒が早くから準備をしてくれたおかげで、予定通りの時刻から開始することができました。多くのご来賓、保護者の皆様に来校いただき、生徒たちの活躍する姿に、たくさんの拍手と声援をいただきました。心より感謝申し上げます。また、教育振興会本部役員、校内委員、広報委員、校外委員の皆様には、朝早くから受付や警備、撮影等、様々なご支援をいただきました。本当にありがとうございました。



体育祭「大縄」の様子

どの競技を見ても、生徒たちがあきらめず全力で、そして笑顔で取り組んでいる姿がうれしかったです。私は「大縄」を見ながら涙が出てきました。本校では心の育成を目的に、年間を通して「縦割り活動(異なる学年同士での交流)」を大切にしています。これまで生徒たちは校庭やテニスコートに集まり、「縦割り」による大縄練習を重ねてきました。先輩からのエールで、徐々に大縄を跳べる回数が増えていく後輩たち。そして、後輩からの「センパイ、ガンバレ! センパイ、ガンバレ!!」という言葉で、さらに熱が入る先輩たち。そんな先輩・後輩の互いの優しさと、当日のたくさんの声援に支えられ、生徒たちはいつも以上に頑張ろうとしてくれたように思います。皆様はどのように感じましたか。

体育祭が終わり、私が片付けをしていると、保護者の方々から「教職員のみなさんも、生徒たちと楽しそうでしたね。」と声をかけていただきました。そのような感想をお聞かせいただけたことはとてもうれしいです。私は、保護者の皆様、ご来賓の皆様が、生徒たちのことをじっと見つめている姿が印象的でした。改善点についてもご意見をいただきました。ありがとうございます。来年度の体育祭の参考にさせていただきます。これからも生徒たちにかかわる全ての大人「保護者の皆様・地域の皆様・教職員」が連携し、生徒たちの成長と一緒に喜び、ひとつひとつの思い出を私たちの心にも刻みたいです。

夏休みまであとわずかとなりました。7月もどうぞよろしくお願いいたします。

8組 「鶴見区交流会」に参加しました

6月18日(木)、寛政中学校を会場に、鶴見区内の個別支援学級1年生から3年生が集まり、「ドッジビー」(ウレタンなど身体に当たっても痛くないやわらかな素材で作られたフライングディスク(frisbee)を使用した、ドッジボール形式のゲーム)の交流会をしました。学校、学年にかかわらない混合のチームで、8組の生徒たちは、他校の仲間に声をかけながらプレーをしていました。途中、本校3年生の生徒がディスクをキャッチし、そばにいた他校の1年生に当てようとする場面がありました。でも、その3年生は1年生の気持ちを察し、あえて外野の仲間にディスクを回していました。優しい姿をたくさん見られた交流会でした。



「鶴見区交流会」の様子

「春テスト」(定期テスト) 終了 みなさんおつかれさまでした

6月18日(木)、19日(金)に「春テスト」(定期テスト)がありました。保護者の皆様にはカリキュラム説明会でもお話ししましたが、テストの各問題は観点別に作られ、観点ごとの回答状況が評価に関わってきます。ですから合計得点は評価には関係ありません。ご家庭でもテストの振り返りをする際には、その教科の、どの観点についてさらに学習した方が良いか、同じ観点の問題であったとしてもどのような分野で課題があるのか等を分析いただきたいと思います。そうすることで、今後、授業を受けるときの意識や、家庭等での学習の進め方が変わってくると思います。ぜひ、お子さんに日々の授業を大切に、提出物もきちんと出せるようお声がけください。

「3年 進路説明会」を開催しました

6月12日(金)、3年生は「進路説明会」を開催しました。説明会は、保護者だけではなく3年生の生徒も一緒に参加しました。進路指導主任の中安教諭は「人の数だけ進路選択がある」と生徒たちに伝え、その後、就職・進学決定までの流れ、奨学金の制度等について説明しました。インターネットによる出願や、コンビニエンスストア・クレジットカード等での検定料や入学金の納付をする学校も多いです。期日に間に合わない場合、受検・受験ができなかったり、合格を取り消されてしまったりすることもありますので各学校の入試要項を十分ご確認ください。



進路説明会の様子

※ 入試に関して、公立高校は「受検」、私立高校は「受験」と表記することが多いです。学校だよりでも同じように表記します。

「よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト 鶴見区審査会」に出場しました

6月29日(月)、横浜サイエンスフロンティア高等学校体育館にて「よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト 鶴見区審査会」が行われました。「国際平和のために自分ができること」をテーマに、鶴見区内の各公立中学校の代表生徒が集まりました。本校からは3年生の生徒が参加し、「情報ではなく自分の目で」というスピーチをしました。次の文章はスピーチの一部です。

現在、世界では戦争が行われています。戦時中の国の人々も、私たちと同じく夢や将来をもっています。私は『画面内の情報』だけではなく『一人一人の命』を感じながら情報を受け取ることが大事だと思います。(中略) インターネットでなんでも調べることでできる今だからこそ、実際に訪ね、五感を使って平和な世界を想像することこそが、これからの平和な社会を作る第一歩になると私は信じています。

修学旅行で沖縄を訪れ、そこで感じた思いを語ってくれました。国際平和のために、みなさんができることは何でしょうか。みなさんの考えを聞きたいです。本校代表生徒のスピーチは「風歌祭」のときに、みなさんに聞いてもらう予定です。

生麦中学校を卒業した先輩からみなさんへのメッセージです

教育実習生として3週間を過ごしたお二人から、メッセージをいただきました。二人とも7年前に生麦中学校を卒業し、教員になりたいという夢をかなえるために母校で実習をしました。担当したクラスだけではなく、全校生徒にあてたメッセージです。みなさん、ぜひ読んでくださいね。

- みなさんと関わり、何事にも全力で取り組める素敵な心をもっていると感じました。日々の学校生活や体育祭を通し、その姿をたくさん見ることができました。みなさんは今後、勉強や日常生活、部活動、人間関係など、さまざまな場面で「選択」をしたいと思います。その際には、「後悔の少ない選択」をしてみてください。後悔のない人生はないと思います。だからこそ、自分なりに納得できる選択を積み重ね、後悔の少ない人生を歩んでほしいと思います。何事にも全力で取り組み、たくさんの経験をしてください。そして、後悔の少ない充実した中学校生活を送ってください。3週間、本当にありがとうございました。(教育実習生 工藤幹大)
- 私は2020年に生麦中学校を卒業しました。当時お世話になった先生方と、実習生としての立場で再会し、感慨深いものがありました。みなさんが廊下で、いつも目を見て挨拶してくれ、とても嬉しかったです。今思えば、学生生活の中で中学が一番楽しかったと感じます。これから先、進学や就職するに連れて、自分と同じ選択をした人が集まるので、こんなにいろんな人たちが同じ教室にいるのは中学校までではないでしょうか。なので、みなさんには生麦中で出会った縁をこれから先も大切にしてほしいと思います。3週間大変お世話になりました。(教育実習生 染谷春果)

生徒のみなさんへ

月曜日の朝、私は校庭に落ちている葉っぱをほうきで集めていました。すると、「先生、昨日はありがとう。」と、少し離れたところから大きな声で言ってくれた生徒がいました。前日、部活で最後の試合を終えたある3年生でした。全力を尽くした試合の後、涙をこらえながら応援に来られた保護者、教員に立派に挨拶をしていました。きっと、これからも、カッコいい姿を後輩たちに見せてくれるでしょう。ドラマのような朝の挨拶に、また胸が熱くなりました。

夏休みまであと少し！ みんなガンバレ！！



校内に、関先生からみなさんへのメッセージが溢れますね。関先生に感想を伝えていますか？